



# 風は湊から

文責 校長 永田 泰志

## 2学期がスタートします。

長かった夏休みも終わり、本日8月26日(月)1時間目に体育館において2学期の始業式を行いました。

しかし、今年の夏は(も)、本当に暑い日が続きました。熱中症による救急搬送や、水の事故のニュースが毎日のように流れていました。夏の全国高校野球大会も今年初めて、昼間の暑い時間帯を避け、午前中と夕方に試合を開催する方法が取られましたが、足がつる選手が続出しました。唐津市においても最高気温が30℃を下回ることはなく、35℃以上の猛暑日(酷暑日)が多かったように思います。



また、8月8日には南海トラフとの関連が示唆される宮崎県日向灘を震源とする大きな地震が発生し、



多くの被害をもたらしました。本校の生徒が参加する予定だった九州中体連柔道大会も中止となりました。

さらに東北地方を横断する台風5号も発生し、岩手県では記録的な大雨となりました。

唐津市内においても児童生徒の水の事故や交通事故等の報告がありました。本校では夏休み中に大きな交通事故等の話を聞くこともなく、無事に2学期を迎えられ何よりです。

さて、2学期は行事も数多く、文化発表会をはじめ、3年生の修学旅行、2年生の職場体験学習、また1、2年生の校外学習や生徒会長選挙等々の中学校の行事に加えて、小学校との合同行事も計画しています。



さらに地域の方々をゲストティーチャーとしてお招きしての体験活動や、公民館で計画されている湊神祭や門松づくり等の行事にも積極的に参加す

# 感謝・自立・挑戦

ることにより、子どもたちの出番・役割を担う機会を多く仕組んでいきたいと考えています。

そして、全校生徒がふるさと「湊」を愛し、地域とともにある学校を目指していきたいと思います。

保護者の皆様には引き続き、学校教育活動へのご協力・ご支援をよろしくお願いいたします。



## 『努力は、足し算』

今年の夏はパリオリンピックが開催され、夜中にテレビ中継を観戦したというご家庭も多いのではないのでしょうか。私は男子バスケットボールの試合、中でもポイントガードとして活躍した河村勇輝選手に注目をしていました。



実は私の息子は同じ年で、小学校6年生の時に全国大会で試合をしたことがあったのです(延長戦の末、負けましたが(笑))。そのため、河村選手に中学生や高校生の時も注目をしていました。そんな中、彼の高校時代の恩師と話す機会があり、こんなエピソードを話してくれました。「高校2年生の12月、全国大会で優勝して帰ってきたその日も、学校の体育館でシュート練習をしたいといっって付き合わされた(笑)。本当に努力家だった。」と。

努力は、足し算。続けることに意味がある。今後の河村選手の活躍が楽しみでなりません。



### 佐賀県中体連大会結果

- ソフトテニス競技【男子個人戦】  
高崎 重虎さん 岸田 幸大さん ペア  
(1回戦敗退)

### 全国中体連大会(長野県)結果

- 柔道競技  
【男子個人戦】  
江口 貫太さん(60kg級)  
(1回戦敗退)



## 今後の行事予定

### 8月

27日(火)午前中授業 給食なし(~30日)

① 駅伝練習(~29日)

3年SAGAテスト(~28日)

30日(金)駅伝試走

### 9月

2日(月)給食開始

生徒会各部会

3日(火)みなとタイム数学(2, 3年生)

4日(水)全校朝会

みなとタイム数学(3年生)

唐津市内一斉部活動停止日

5日(木)2年生職場体験学習(~6日)

10日(火)みなとタイム数学(1, 2年生)

11日(水)3年生修学旅行

(鹿児島・熊本方面)(~13日)

1、2年生校外学習

15日(日)県内一斉部活動休養日

16日(月)祝 敬老の日

17日(火)みなとタイム数学(1, 3年生)

18日(水)みなとタイム数学(3年生)

19日(木)1年生職業講話

特別掃除

前期期末テスト前部活動停止

(~25日)

22日(日)祝 秋分の日

23日(月)振替休日

24日(火)前期期末テスト(~26日)

総合避難訓練

27日(金)1, 2年生創作活動

第1回湊地区クリーンアップ

28日(土)唐津地区中体連駅伝競走大会

30日(月)生活アンケート

3年生創作活動



※2学期は学年ごとの行事も予定しています。各学級から配布される学級通信等もご確認ください

## 2学期のキーワードは『聴く』!

8月26日(月)の始業式に、『聴く』という漢字について話をしました。この『聴く』という漢字の中には4つの「聞き方」が隠れているという問題です。

一つ目は、「耳」で聞く

二つ目は、「心」で聞く

三つ目は、「目」で聞く と

ここまででは子どもたちもすぐに答

えることができました。では、四つ目は?

「聴(きく)」という字に似た漢字に、「徳(とく)」という字があります。この「徳」という字はもともと「恵」という字だったそうです。行人偏には、「いく」とか「あるく」の meaning があります。つまり「恵」という字には、「真っ直ぐな心で行く」、「素直に行く」という意味が隠れているのです。

『聴く』という漢字の中に隠れていた四つ目の答えは、「素直」に聞く です。

「耳」で、「心」で、「目」で、そして「恵(まっすぐ)」な聞き手となった時、聞くことが楽しいと感じるものです。また、相手の話をよく聞き、よく理解するということは、話す相手を尊重することであり、共感することにも繋がります。「聴く」を大切にすることは、みなさんの友達や先輩・後輩、また目上の方々との関係づくりに、大いにプラスをもたらします。

2学期は多くの行事があると同時に、多くの人の話を聞く機会があります。「聴く」を大切にしていと話をしました。

※「見ること博(ひろ)ければ迷わず。

聞くこと聡(さと)ければ惑わず」という格言があります。(視野を広く持てば、道に迷うことはない。人の言うこと(意見)によく耳を傾ければ、判断に惑うことはなくなる。)という意味です。

相手がどんな人であろうと、こちらに謙虚な気持ちがあるならば、思わぬ知恵が与えられる。つまり一人の知恵が二人の知恵に。二人が三人、三人が四人。多ければ多いほどいい。衆知を集めるとは、こんな姿をいうのである。お互いに一人の知恵で歩まぬよう心がけたいものである。

(松下幸之助氏の言葉より)

